

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム四葉のクローバー

(ユニット名) 2階ユニット

記入者(管理者)

氏 名 上西 光宜

評価完了日

平成20年6月30日

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「健康・愛情・幸福・希望」を理念として掲げ、日々の生活の中で達成出来る様、努力している。運営推進会議で地域の方々に参加頂き、理念について理解頂ける様に説明をしている。		運営推進会議、季節の行事等に多くの地域の方にも参加頂き、理解して頂ける様、今後も取り組んで行きたい。
			(外部評価)		
			利用者、ご家族、職員の「幸福・愛情・健康・希望」を支援することをもとに、地域に根を下ろしていけるよう、取り組んでいくことを目指しておられる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念をスタッフ間で共有出来るように、理念の書いてあるカードを全スタッフは携帯し、日々仕事している。朝礼、ミーティング時に理念を再確認し、理解を深め共有出来るよう取り組んでいる。理念の健康については特に力を入れ、食事内容、体操、散歩、身体を動かすレク等に取り組んでいる。		日々携帯カードで理念を振り返り、皆で共有しながら、今後も取り組んで行きたい。又、利用者の状態に合わせた支援に取り組みたい。
			(外部評価)		
			事業所の朝礼時等で、法人代表者が理念に基づき、お話をされている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			契約時に施設長より、家族様へ詳しく説明している。又、玄関先にも掲示しており、ユニット入口にはファイルに綴じた物もあり、自由に閲覧出来る様になっている。運営推進会議や行事等で地域の方々、家族様に理解頂ける様に取り組んでいる。		今後も運営推進会議や行事に地域住民・民生委員・役員の方々に参加頂き、ホームの理念を理解頂ける様説明し、より多くの交流が持てる様取り組んで行きたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 毎日の散歩や外出時に積極的に笑顔で挨拶する様心掛けています。近隣の方で気軽に話しかけて下さる事も居られる。		近隣の方にも行事に参加頂き、気楽に立ち寄れるホームになる様に働きかけたい。
5	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の祭り等に利用者、スタッフ共に参加し交流している。自治会については施設長がホームを代表して参加されている。 ホームの行事に地域の方々にも参加頂き、交流を深めている。		今後は老人会、地域活動等に参加出来る様に取り組みたい。
			(外部評価) 松山まつりの野球拳おどりには、職員数名が「すみれの団地」の連で踊られた。学生の実習等も受け入れておられる。		さらに、今後も近隣のデイサービスや、地域の方達とも交流を深めていけるような取り組みをすすめていきたいと考えておられる。又、公民館で「認知症の勉強会」を開催し、地域の方の理解を得たいと考えておられた。
6		○ 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 施設長は敬老の日に近隣の独居の方の家を回り、変わりがないか伺い、弁当を配布している。		今後も地域の高齢者の暮らしに役立つ様に取り組んで行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 各自で日々の活動を振り返りながら自己評価を行っている。外部評価の結果をミーティング時に全項目について話し合い、改善に取り組んでいる。		外部評価を受け、改善できなかった項目について、どの様にすれば改善されるのか話し合い、取り組みたい。
			(外部評価) 職員個々が自己評価に取り組み、ユニットのリーダーがまとめられた。前回の評価結果について職員で話し合い、この一年間、避難訓練の実施や運営推進会議の開催等、取り組みの充実を図られた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			定期的に行われており、家族様、地域の民生委員等 に出席頂き、ホームでの取り組み、サービスの実際等 について報告し、意見を頂いている。頂いた意見は、 サービス向上に活かせる様、話し合っている。		運営推進会議に家族様、地域の方々が進んで参加した いと思えるような内容に工夫して行きたい。又、会議 で頂いた意見は今後もサービス向上に活かしたい。
			(外部評価)		
			会議には、地元の方にも出席いただけるようになっ た。そのようなこともあり、事業所では、1歩踏み込 んだ話し合いができるようになったと感じておられ る。さらに、職員も同席するようになっている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			主に施設長が取り組んでいる。		朝礼、ミーティング時に報告を受け、サービス向上に 取り組んでいる。施設長が地域包括支援センターへも 出向き、今後もより良い連携に向け取り組んでいる。
			(外部評価)		
			利用者の中には、生活保護受給者の方も多くおられ、 市の指導を受け、金銭管理等について、密な話し合い のもと支援されている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			ミーティング時に勉強会を行い、理解を深めている。 必要な資料は全スタッフに配布している。		現在利用している方は居られないが、今後利用される 時に説明が出来る様に理解を深めたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修に参加したり、ニュース等話題になれば、朝礼や ミーティング等で話し合っている。言葉による虐待防 止については、徹底できていないと施設長からも指摘 があった。		職員間での指摘が出来るように意識向上を図りたい。 今後も勉強会などの機会を設けて改善に取り組みた い。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、施設長、ケアマネ、ユニットの職員が同席し、説明が充分に行われ、納得し理解頂いている。解約時の説明は、施設長が行っている。退居後のこと等は、施設長から職員へ報告される。		入居後も疑問点等がある場合には、いつでも説明出来るように職員の理解を深めたい。また、理解頂いて契約されたにも関わらず、通院時の付き添いなどの対応を渋る方もおられる。今後の関わりを通じて理解頂ける様取り組みたい。退居時は、慌しく対応しているため改善の必要がある。
13		○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者より直接職員へ表せる場合、ご家族を通じて職員へ表せる場合もある。朝礼や、ミーティング時に話し合い、全員で改善に向けて取り組むようにしている。		日々の思いを直接伝えて頂ける様に、利用者様との関わりを深めたい。ご家族が来られたときには、お茶等を飲みながら、居室でゆっくりとお話して過ごせるように取り組んでいる。
14	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月のメッセージカードで日々の様子を報告している。金銭面は、金銭出納帳を送付している。職員の異動については、各階入口のボードに写真や情報を掲示している。また、連絡や相談が必要な時には、(特に健康状態の変化) 随時電話連絡している。		事務処理上の変更があった場合など、分かり易くご家族に連絡する取り組みを続ける必要がある。健康状態の変化について、理解頂く為にも、ケアプラン更新時だけでなく、日頃から面会に来て下さるような関係の構築に努めたい。
			(外部評価) 事業所からの日常の報告とともに、利用者にご家族宛のハガキを書いてもらい、ご家族に日々の生活について報告をされている。		
15	8	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 現場に直接頂いた意見等は、その日の職員が対応し、施設長へ報告している。その後施設長が対応している。届いた不満や苦情は真摯に受け止め、全員で把握し、改善に取り組んでいる。また、契約時には、外部へ苦情を表せる連絡先も明記・説明してお渡ししている。		運営推進会議には、毎回違うご家族に出席して頂き、満遍なく皆さんの意見や、苦情など出して頂き、より良い生活を送れるように取り組みたい。ご家族との信頼関係の構築に努めたい。ご家族の意見をお聞きしたわけではないが、家族会のような場も必要ではないかと思う。
			(外部評価) ご家族の来訪時に意見の聞き取りをされたり、系列のグループホーム合同でバーベキュー大会を開催し、ご家族同士の交流も図られた。		さらに、事業所では、行く行くは、家族会の開催も検討されている。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 朝礼やミーティング時に意見交換をしている。光熱水費・食費・雑費等についても施設長より報告がある。		全ての意見が通るわけではないが、自由に意見を出せる。個人で言いにくい時には、リーダー、サブリーダーを通じて反映できるように取り組みたい。また、今後も節約に努めたい。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要な人員が確保されている。行事に合わせて増員などの手配をされている。また、時間外勤務などでの調整もされている。		外出時の人員に偏りが見られるので、調整をしていただきたい。職員全員が安全な外出の対応が出来る様に努めたい。利用者様の状態に合わせて、必要時には、施設長の指示により、勤務延長したり、早く出勤したりして柔軟に対応している。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 人事異動は、最小限に抑えられているが、新人職員が定着せず、利用者様やご家族に動揺が見られることがある。		長期間努めた職員が離職する場合は、利用者様が不安にならない様な受け答えに努めたい。新人スタッフが長く勤めていける職場作りに努めたい。
			(外部評価) 新しい職員が入られた場合には、1ヶ月ほどは、先輩職員が付き、ケア等についてアドバイスをされている。又、法人代表者(管理者)や看護師資格を有する職員は、チームワークの大切さを職員に語り、時に食事会や飲み会等を事業所主催で行ない、職員の交流の場作りに努めておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修や講習会の情報は回覧され、希望または指名により参加している。また、資格の取得についても、受験できるようにシフトを調整している。外部の研修も受ける事になっており、質の向上に取り組んでいる。		研修や講習会の内容は、ミーティングで報告され、資料はいつでも閲覧できるように置いている。今後も情報を共有し、職員、ケアの質の向上に努めたい。
			(外部評価) 事業所では、内部での勉強会や外部研修等にも、積極的に出席するようすすめておられる。又、地域包括支援センター主催の研修や地区の他事業所の集まり、運営推進会議にも職員もともに参加されている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			近隣の事業所と交流があり、行事の際に招待頂いたり、招待したりしている。研修の一環として、交換で実習を行ったこともある。		今後も交流を深めて相互のサービス向上に役立つように取り組みを期待したい。
			(外部評価)		
			法人代表者は、地域のグループホーム連絡会の会長をされており、職員もともに他の事業所と交流や意見交換をされている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			花見や忘年会などの親睦会を行い、職員間の親睦を深める取り組みされている。 休憩時間はユニット内で見守りしながらとっている。		休憩時間を（短時間でいいので）過ごせる場所を検討して欲しい。職員間の関係については、各々が責任を果たしながら、お互いが協力できるような環境作りに努めたい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			研修や、資格取得が積極的に臨めるように、休日希望を受付されている。		勉強した事は、仕事に活かせる様にミーティング等で発表し、全員が共通認識として共有できるようにしている。自主的に勉強会を開くなど、質の向上に取り組みきたい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			主に施設長がご本人やご家族と複数回面談され、思いを傾聴し、把握するようにしている。また、実際にホームへ見学に来て頂き、ご本人の目で確かめて頂ける場合もある。		スタッフは、施設長からの情報により、前もって知る事が出来る。入居者本人が納得しないままの入居となっている場合もあり、入居者様の気持ちを受け止めながらも、ホームに慣れて頂ける様に、関係を築く取り組みをしたい。その為にも、ご家族と職員の関係も大切になると思う。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 主に施設長が複数回の面談などし、思いを傾聴し、把握している。本人・家族等もホーム見学をされたりして、納得される様取り組んでいる。また、不安点についてもその都度話を聞き、解決するように努めている。		スタッフは、施設長からの情報により、前もって知る事が出来る。また、ご家族のご希望や、ご本人のご希望をケアプランにも取り入れている。今後も信頼関係を築けるように対応したい。
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居前のアセスメントや、入居時のサマリーなどで、利用者様の詳しい情報を共有できるよう取り組んでいる。状態に応じて、マッサージなどのサービスを取り入れたりしている。医療については、かかりつけ医と連携して取り組んでいる。		職員全員が情報を共有し、同じ対応が出来る様に、今後も意識を高めたい。日々の関わりのなかで、アセスメントを充実させ、カンファレンスに役立てたい。
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ご本人が馴染めるまでに、スタッフのペースで支援していたところがある。他の利用者様との関係を見ながら席順等も決めて生きたい。		ご本人が納得されるまで、ゆっくりと慣れて頂く取り組みをしたい。ご家族とも連携し、生活に馴染めるような工夫をしたい。一方的な支援とならない為に、利用者様との信頼関係の構築に努めたい。
			(外部評価) 入居前に事業所を見学いただき、生活環境を見てもらうようにされている。又、入居時には情報収集に時間を取り、ご本人の訴えをゆっくり聞くようにされている。ご家族に頻繁に来訪いただけるよう働きかけられたり、電話で様子を報告される等、ご家族の不安も解消できるよう努めておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者様の能力に応じ、職員と一緒に洗濯物を取り入れたり畳んだり、他の利用者様と協力される場面もみられる。		一方的にならない介護を行えるよう、利用者さまとコミュニケーションを取りながら出来る事を見極めたい。
			(外部評価) 職員は、利用者から「てんぐさ」から「ところ天」を作る方法を教えていただきながら一緒に作り、皆さんで食べられた。又、職員は、時に、利用者の方から「休みながらやりなさいよ」と、やさしい言葉をかけてもらうこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には、近況を詳しく報告し、ご希望なども聞くようにしている。ケアプランの更新時には必ず来て頂き、納得いくまで説明し、理解頂いている。		面会時には、一緒に散歩に行ったり、居室でお茶を飲みながらお話しされ、利用者様の現状を把握して頂けるように取り組んでいる。質問などがあれば、その都度お答えしている。
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご家族が疎遠な方もおられる。ご家族、親類の方が主な面会者である。面会時には、居室でゆっくり会話出来る様にお茶をお出ししている。		ご家族、利用者様ともに本音でお話して下さる様、信頼関係の構築に努めたい。バーベキューなど、ご家族と一緒に楽しめる取り組みを考えたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) ホームでの生活が中心となっている。ご家族以外の方との交流は少ない。時折訪問頂いている方が居られるが、利用者様から出掛けることがほとんど無い。		ご家族と、市外の親類宅へ法事に出かけたりされることがある。大切な友人や少し離れた親類の方が訪ねて来られたら、今後も来易い雰囲気を感じて頂けるように対応したい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 自分以外の食器の下膳や、職員の目が届きにくい時に、注意の声を掛けられたり支えあっている反面、少しのことで口論になったりすることもあるので、職員が間に入り、大きなトラブルにならないよう努めている。		相性の良くない方も居られるので、席替等で気分を変えたり、スタッフが間に入って対応していきたい。利用者様其々の長所を把握し、お互いに支え合えるように取り組みたい。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居された後も、継続的な関りが持てるように施設長・職員が配慮し対応している。毎月のメッセージカードは、退居された翌月も送付している。		入院時には、お見舞いに行ったり、転居後は連絡先を確認し、関係が途切れないうに努めている。施設長が転居先を訪問し、情報を報告・連絡している。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			ご本人やご家族から、希望や意向についてお聞きし、ミーティング時に話し合い、情報を共有している。		暮らし方については、利用者様の意向よりも、ユニット全体の生活の流れが優先されており、それが普通となっている。規則正しい生活リズムは出来るが、個人の意向という点では、改善が必要ではないかと思う。
			(外部評価)		
			職員は、利用者個々の好き嫌い等を知り、支援されている。しかし、ご本人のこれまでの生活の情報が得にくい場合もあり、利用者についての情報は少なめである。又、ご本人が「いいようにして」と、職員に安心して任せておられる場合もあり、職員がその方の思いや意向を把握することが困難なこともある。		さらに、利用者個々に合った生活を支えていくためにも、日々の利用者とのかかわりの中から、情報を集めていくような取り組みも期待される。情報を蓄積し、介護計画につなげていかれてほしい。
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			職員は、アセスメントシートを読み込み、情報の把握に努めている。		自宅から入居された方は、環境が違い過ぎるためか、混乱され易い。ご本人の思いをお聞き出来る様、信頼関係を築く様に努める。お聞きした情報をケアプラン作成にも役立て、少しでもホームの暮らしに馴染んで頂ける様取り組みたい。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			日誌、日報、介護支援経過表に記録として残し、全職員及びご家族も閲覧出来る様に取り組んでいる。		重大事項は赤字で、夜勤帯の様子は青文字で区別して記録し、読みやすくしている。ケアプランに添った記録を意識するように、日誌とケアプランを同時に開いて見られるクリアファイルを使用している。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ご本人の様子・希望、ご家族の意見等を踏まえて、ミーティング時にカンファレンスを行い、介護計画を作成している。ご家族からは、「今のままでいいです」「そちらのいいようにして」の声が多いのが現状である。		ご家族にもっと関心を持って頂ける取り組みが必要だと思う。他のユニットの介護計画も参考にしたり、柔軟な取り組みをしたい。
			(外部評価)		
			ご本人の思いやご家族の希望等を聞き取り、職員で話し合って計画を作成しておられる。		さらに、ご家族の意見を聞くことが困難な方について、利用者にかかわる方の意見を探り入れながら、計画を作成する取り組み等も期待される。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			基本的に3ヶ月に1回の見直しをしている。必要な場 合には(ご家族からの要望、ご本人の状態の変化によ り)カンファレンスを行い、随時対応している。		今後も、ご本人、ご家族の意向に添った介護計画の作 成に取り組みたい。
			(外部評価)		
			退院時等、状態に変化があったような場合には、随 時、計画の見直しをされている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			個別に日誌に記録している。また、重要な事柄は、日 報の連絡欄へ必ず記入し、朝礼等でも申し送りし、職 員間で情報を共有している。		ミーティング時に気づいた事について話し合い、記録 に残し、全員で取り組めるよう努めている。日誌の内 容については、内容がマンネリになっていないか、介 護計画が反映された記録になっているか等、見直し部 分を常に問題意識を持って取り組みたい。
			(外部評価)		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			現状では、多機能性を活かした支援は行われていな い。		どういう支援が行えるか施設長・全職員で検討し、取 り組みたい。
			(外部評価)		
			利用者が病院に入院中、職員が着替えのお世話等をさ れる場合もある。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 大正琴やフラワーセラピー・アロマセラピー等のボランティアの方に来て頂き利用者様も楽しみにされている。毎年、防災訓練で松山西消防署の方が来られ、訓練、指導をして下さる。ボランティアの参加希望の方のおられる。		災害時の場合等、近隣の協力が得られる様、今後も交流を深める取り組みが必要だと思う。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて訪問マッサージのサービスを利用している方が居られたが、現在は利用されていない。		利用者様の希望、必要性等に応じてどのようなサービスが利用できるのか、職員の理解を深めたい。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括センターより、地域の外出情報を頂いている。施設長が主に関っているが、十分に協働しているとはいえない。		運営推進会議に出席して頂いたり、施設長が地域のミーティングに参加されているので、少しずつ関りが深まる様取り組みたい。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 基本的に月に2回のかかりつけ医による定期往診を受け、健康管理の支援を受けている。また、24時間体制で必要に応じて医療行為を受けることができる。ご家族や利用者様の希望により、他の医療機関への紹介も可能である。		指示により専門的な病院には、ご家族対応で受診されている。今後も医療との連携を深めて適切な医療行為を受ける事ができるように取り組みたい。
			(外部評価) 法人代表者（管理者）は、利用者の変化に気付くことの大切さを職員に話しておられる。協力医といつでも相談できるようになっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 心療内科との提携があり、良好な関係が築けている。定期的ではないが、往診も来て頂いている。相談等は、主に施設長が対応している。		認知症に関する情報を取り入れたり、理解を深め、支援に役立てて行く上で、重要な関係だと思う。今後も連携を深める取り組みが必要だと感じる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職が勤務しており、日常的に相談している。ユニットのミーティングにも参加し、利用者様について相談したり、医療的な知識の勉強会を行っている。		今後も連携を深め利用者様が安心して生活できる様取り組みたい。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院関係者との情報交換は主に施設長・看護職が対応している。また、情報は職員、ご家族、かかりつけ医等全員が共有し、早期退院に向けて連携に努めている。		退院後も安心して生活出来るように医療機関との連携を深める必要があると思う。
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 施設長が主に対応している。ご家族、かかりつけ医、職員を含めて情報交換をして、方針を共有している。 (外部評価) ご家族や医療機関と相談しながら、ご本人を中心に検討をされている。		今後も連携を深めて、利用者様にとって、適切な対応が出来る様努めたい。 身寄りのない方やご家族の協力が得られにくい方等についての支援や、ご家族の協力を得ながらの支援等、それぞれに合わせて対応するための話し合い等も、重ねていかれることが期待される。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 定期的往診の際に利用者様の状態について、報告・連絡・相談している。24時間体制で、医師の指示を仰いで、チームで対応している。現在は、終末期支援は行っていないが、今後の変化に備えてミーティングで検討していく。		今後もかかりつけ医と連携を深め、チームとしての支援に取り組む。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他所へ移られる際には、主治医・ご家族・ケアマネ・担当職員等と話し合い情報を交換している。		今後も転居された後で、ダメージを受けないような取り組みを続けたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			誇りやプライバシーを損ねない言葉掛けや対応に努めているが不十分であり、職員本位になっていることがある。個人情報の取り扱いは十分に配慮し、対応している。居室の入口は、防災加工された暖簾を掛けて、換気しながらも、プライバシーの保護に配慮している。		職員全員で日々対応する。相互に指摘し合えるように取り組みたい。改善すべき点は前向きに取り組めるよう努めたい。利用者様の個人情報管理としてホワイトボードの予定は名前記入から居室番号で対応することにした。
			(外部評価)		
			職員は、利用者の食べこぼし等にも細やかに気を配り、サポートされていた。		
51		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			コミュニケーションがスムーズに図れる方が多いので、その方に合わせたペースや、声の大きさなど配慮している。また、居室にて一対一でお話させて頂いたり、利用者様同士の会話から、思いを汲み取ったりしている。		思いを表せる様、信頼関係の構築に努めたい。
52	21	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			一人ひとりのペースよりも、職員のペースで過ごしていることが多い。		今のペースに利用者様が慣れている様子で、あまり不自然に感じていないが、希望にそってという点で考えると、対応出来ていないと思う。利用者様の思いを汲み取れる様努力したい。反面、慣れた現在のペースの良い面もあるため希望にそった支援が行えるよう検討して行きたい。
			(外部評価)		
			居室で過ごされたり、居間でテレビを見られたり、それぞれが思い思いに過ごされている。食事のすすめ方も、利用者の状態に応じて支援されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理・美容は、訪問の業者を利用する方、ご家族と行きつけに行かれる方、ご家族が散髪・毛染めまでホームでされる方、職員が切る方等様々である。着替え時には、ご自分で服を選んで着られる方、職員と一緒に選ぶ方などその方に合わせた支援に取り組んでいる。		衣服の乱れにさり気ない支援ができるよう、気を配りたい。また、衣替え等も利用者様と相談しながら行える様取り組みたい。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 旬の食材を使用したメニューを一緒に考えたり、買物に行く事もある。(全ての方の希望通りには出来ないが)アレルギーの方には代替のおかずをお出ししている。 (外部評価) 週に3回、食材の宅配を利用されており、その他の日には、利用者の希望等も聞きながら、事業所で食事作りをされている。職員は、利用者とともに食材の買い物に行かれたり、食事中は、姿勢等にも気を付け、職員も一緒に食べながら利用者が食事がすすむよう、声をかけておられた。又、食べこぼし等の汚れは細やかに気付き、カバーされていた。		野菜の下ごしらえ、テーブル拭き、配膳などその方の能力に合わせて参加して下さる様取り組んでいる。食器を下膳する際に隣の席の方の食器と一緒に片付けたりされる場面も見られる。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつや、飲み物に関しては、なるべく好みに合わせた対応を心掛けているが、当ホームでは、禁煙となっている。お酒は、行事の時等にお出ししている。		健康状態などを考慮し、希望に添える様、取り組みたい。煙草については、防災の面からも、禁煙の方が良いと思う。
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンは、チェック表を利用して、把握に努めている。ご本人・ご家族の了解を得て、その方に合わせた誘導・見守り・介助を行っている。毎朝食後に排泄の支援になる様ヨーグルトを召し上がって頂いている。		今後も利用者様に合わせた対応をしたい。排便のコントロールは、ご本人・ご家族・医師・看護師等と相談しながら取り組んでいる。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			曜日や時間は、職員の勤務形態などから考えて行っている。「一人で入りたい」と言われる方にも安全の為に、浴室内で見守りを行っている。		体調の変化や外出などによる急な変更にも柔軟に対応している。限られた時間内でも楽しく寛げる場となる様に努めたい。
			(外部評価)		
			夏場は、汗をかくとシャワーを利用し、冬場は、寝る前に足浴を行う方もいる。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			利用者様が休みたい時間に休んでおられる。日中は、なるべく起きて活動して頂く生活のリズムを作るように取り組んでいる。		利用者様の健康状態や、精神状態に合わせて、休んで頂くように配慮したい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			体操・散歩・カラオケ・外出等などは、体調に合わせて支援している。テーブル拭きや、洗濯物畳みなども参加されている。		生活歴などを更に深くお聞きしたりして、生きがいとなる様な楽しみを探る。日々の暮らしがマンネリ化しがちなので、退屈しない取り組みを考える。
			(外部評価)		
			午前中の涼しい時間に散歩に行かれたり、ラジオ体操も日課になっている。フラワーセラピーで作った作品が、居室や共用空間に飾られていた。又、外に出ることを積極的に支援しておられ、県内の観光地や名所等、いろいろな場所に出かけておられる。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			金銭に関しては、職員が管理している。職員と一緒に買物に行かれ、好きな雑誌・嗜好品等を選んで買われている方も居られる。		ご自分で少し持たれている方も居られるが、外出時に持って出ようとされない。今後、利用者様やご家族から要望などあれば、取り組むように考えるべきか、トラブル防止の面からも現在の方法を取るべきか、判断が難しいと思う。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日は、体調に合わせて散歩が行える様支援している。ドライブなどの外出も行い、気晴らしされている。		散歩時に、近所の方と挨拶のやりとりもあり、交流のチャンスとなっている。安全に配慮して、今後も取組みたい。一覧表を作り、メンバーが偏らないように配慮している。
			(外部評価)		
			外出がお好きな方が多く、利用者も楽しみにしておられる。毎日のお散歩や買い物に出かけておられる。又、季節に応じて車でお花を見に行かれたり、県内の名所に出かけておられる。		
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			花見やいちご狩りなど、季節に応じた外出を毎年行っている。ご家族との交流は、バーベキュー大会や、クリスマス会等、ホームで一緒に楽しまれてる。		ご家族に外出同行の要請・要望はするが、参加された事は無い。利用者様の希望をお聞きし、実現できるように取組みたい。季節に応じた外出は、今後も取組みたい。
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望があれば対応できるように、日常的に支援している。電話についても、職員が掛けて、お渡しし、お話されている。特に制約はない。		今後も、遠慮せずに申し出て頂ける様、信頼関係の構築に努めたい。
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問に関しての制約はなく、自由に訪問して頂ける。		飲み物をお出しし、居室で、寛いで頂ける様取組んでいる。ゆっくりとお話したり、差し入れと一緒に食べながら過ごしたりされる。今後も居心地の良い空間創りに努める。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価) 外部の勉強会や、ユニットミーティングで勉強し、身 体拘束の無いケアに取り組んでいる。		無意識に拘束的なケアをしていないか、常に意識して 取り組む必要があると思う。職員間で指摘し合える体 制作りに努める。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室に鍵はかけない。日中は、玄関も開放しており、 自由に出入り出来る。ユニットの入口も開放されてい る。		帰宅願望などの不穏時などは特に居場所確認に取組 みたい。職員が一人になり、手が離せなくなる時に限 り、ユニットの施錠をしている。今後も、安全確保に 気を配りたい。
			(外部評価) 調査訪問時も玄関は解放されており、利用者が自由 に出入りできるようにされていた。玄関前にも、複数ベ ンチを設置しておられる。現在、日中、4名の職員の 方が対応するようシフトが組まれている。		運営推進会議時、ご家族から「玄関を開放するのは不 審者が入ってくる恐れはないか」という質問もあつ た。このようなことをきっかけにご家族の心情にも配 慮した回答等、ご家族の理解につなげていくような取 り組みが期待される。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) 居室の入口に暖簾を掛けて、戸を開けても直に見えない工夫 をしている。トイレの戸は開きを逆に変えて、少し開いてい ても利用者様が見えないように改善された。昼夜ともに、さ り気なく居場所確認、安全確認している。昼間に入室の際 は、声掛け、ノックし了解を得ている。		昼間でも、職員が把握出来ずに外出された事があるので、今 後も更に注意して、安全に努める。
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 針・刃物・薬類等、危険な物はご本人・ご家族に了解を得て 事務所でお預かりしている。必要な時には、いつでもお出 しできる状況である。居室で針や刃物を使う時には、さりげな く見守り、様子の確認をしている。		不便を感じている方も居られるが、安全面を考え、今後も同 じ様に取り組みたい。(ご本人も納得されているので)刃物 などをリビングや居室に置き忘れないように確認の徹底に努 める。
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ユニットミーティングで、看護師から指導してもらったり、 資料を読んで勉強している。実際に起こった事故や、ヒヤリ ハットについても回覧され、話合っている。毎年防災訓練を 消防署の方に来て頂き、指導を受けている。		居室は片付けるようにし、転倒に注意している。服薬時に は、氏名、日付などを声に出して読み上げ、ミスの無い様に 努めている。更に気を付けて取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時のマニュアルを作成し、ミーティング時に勉強している。(応急処置については、看護師職員を中心に) 緊急時マニュアルは、事務所に置いてあり、各自、把握する様に意識している。また、外部の研修にも参加している。		各自が行動に移せるように、勉強していきたい。蘇生法や応急処置については、日赤研修に、順次参加している。まだ参加していない職員も参加して、知識を深めるように努めたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 毎年、消防署職員立会いのもとで、訓練を行っている。今年は実際に、利用者様に非常階段を使って避難して頂いた。(2名)実際の災害時に、落ち着いて迅速に行動に移せるように努める。 (外部評価) 避難訓練や耐震車の体験等もされた。いざという時の職員の対応等については、毎月のミーティング時、話し合いやシュミレーションを行うことを継続されている。		誘導に時間がかかったり、声を掛け合えなかったり、と反省点が多数あった。今後は、ミーティング時に職員全員で、シミュレーションをすることになり、1階と2階が協力して行動出来る様に努めたい。地域との連携をとれるように日頃からの働き掛けが大切だと思う。 今後も、地域の人々の協力を得るための取り組みを、すすめていかれてほしい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時に施設長から、一般的なりスクについては、ご家族への説明がなされている。また、ご家族の理解も得ている。日々、職員間でも話し合い、施設長やご家族への報告をして対応している。		今後もご家族との連絡を密にして、利用者様の状態の変化や、それに伴うリスクについてお話しし、事故の予防に努めたり、ご理解・ご協力を頂ける様に、取り組みたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) バイタルチェックや、体重測定、排尿排便のチェックについて、細かく申し送るように取り組んでいる。(必要な方は、摂取水分量も)異変に気付いた場合は、施設長、看護師に報告し、かかりつけ医の指示を仰いでいる。		利用者様の普段の様子を把握し、変化に素早く気付くように心掛けている。また、日誌・日報にも詳しく記録を残し、申し送りしている。薬の処方が変わった時も、細かく申し送りしている。今後も全員で取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋の内容を把握するよう努めている。(効能、量、副作用など)処方箋は個人ファイルに綴じて、日報に薬が届いたことや、変更事項など詳しく記録している。朝礼でも申し送りしている。		配薬ミスなどのヒヤリハットがあるので、薬をお渡しする時に、日付・名前などの読み上げ確認を徹底して事故防止に取り組みたい。
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便チェックの出来る表を作成しており、常時記入している。体操や散歩で、体を動かしたり、牛乳やヨーグルトを毎日召し上がって頂き、便秘防止に努めている。		便秘がちな方は、出ていない日をチェックし、随時看護師に相談して下剤を服用される。(かかり付け医に相談し、頓服で、下剤を処方して頂いている方も居られる)成るべく下剤に頼らない様取り組みたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔ケアは、自らされたり、職員の声掛けにて行っている。義歯の洗浄は、週に1回ボリデントを使用して洗浄している。毎食後はされないが、就寝前には、必ず外して口腔ケアを行った後に休まれる。		磨き残しの有無の確認が必要かと思われる。現在は徹底できていないので、取り組みたい。ご自身の歯が残っている方は特に、虫歯の予防への配慮が必要だと思う。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) カロリー計算されたメニューとなっており、塩分・糖分は控えるよう取り組んでいる。また、利用者様の健康状態や食べられる量に配慮している。		自家農園で採れた旬の無農薬野菜が届くので、季節感のあるバランスの良いメニューを今後も取り入れたい。味付けが濃くならないように今後も気を付ける。また、夏は特に、脱水症状が出ない様に取り組む。
			(外部評価) 旬の食材をいち早く採り入れ、利用者に喜んでいただけるよう取り組まれている。夜間は、水筒やコップにお茶等を入れて、居室の枕もとに置かれている方もいる。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症予防マニュアルを作成し、ミーティング時に勉強している。細かい点は、看護師に教えてもらい、知識を深めるよう取り組んでいる。散歩や外出から戻ったときには、必ず、手の消毒と紅茶でうがいを実施している。		今後も、予防に努め、発症した時にも、マニュアルに沿って、正確に対処出来る様、理解を深める。また、早期発見や職員も自己予防に努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、包丁はアルコール消毒し、布巾は、毎回消毒している(酸素系のハイター)。食器洗浄機を使用し、衛生管理に取り組んでいる。		冷蔵庫の消毒は定期的に行われていない為、今後話し合っ取り組みたい。食材は賞味期限内に使い切る様努めている。今後も取り組むたい。
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関先や庭には、季節の花を植えて、親しみやすい雰囲気となっている。スロープや手摺の設置でより安全に取り組んでいる。玄関口にベンチを増設し、靴を安全に脱着出来る様になった。		スロープを歩くときに開けた窓にぶつからないように注意している。また、門のレールの部分が段差になったため、通る際には、安全に取り組むたい。ベンチが設置してあるので、近所の方や、小学生など、気軽に立ち寄れる取り組みに努めたい。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 西日が入るので、レースカーテンを2重するなど、眩し過ぎないように工夫している。それでも眩しい時は、遮光カーテンをひき、電灯を点けるが、返って暗くなってしまうので、工夫したい。天気の良い日は、出来るだけ窓やユニット玄関を開放して、臭いや空気が滞らない様に、換気に気を付けている。 (外部評価) 共用空間には、大画面テレビを設置し、オリンピックや高校野球等も楽しまれている。又、空間内に緑を配し、利用者が落ち着ける雰囲気作りに心がけておられた。		時々、テレビの音が大きいので、配慮したい。夜間や早朝の生活音、職員の足音について、極力小さくなる様、努力している。夕方には、早めに居室の照明を点け、転倒の防止に努めている。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングでも、テーブル席とソファ席があり、お好みで過して頂いている。裏口側にも椅子を用意しており、廊下歩行の際に休憩しながら、利用者様同士で歓談されている時がある。		1人になりたい時には、居室にて過される。気兼ねなく過して頂けるような雰囲気作りに努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			居室のスペースに限りがあるので、最小限の物の持ち込みとなっている。畳の間も1室用意されている。仏壇や、写真(遺影)などを持ち込まれる方もおられる。 (外部評価)		
			畳のお部屋もある。それぞれの居室には、ボードに行事時の写真やお花等が飾られている。又、ご自身で作られた作品が飾られている居室もうかがえた。		ご家族や利用者様と相談しながら、出来る範囲で、取組みたい。居室のコルクボード(写真や装飾品等)の活用が出来ていないので、利用者様に楽しんで頂ける様な取り組みをしたい。 さらに、居室の収納棚について、地震等に備えた安全策が望まれる。職員で工夫を話し合わせてほしい。
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 1年を通じて換気に取り組んでいる。窓やユニット入口は開放している。掃除の時に必ず換気している。必要に応じて、空気清浄機付加湿器を使用している。利用者様の体調に配慮し、空調等で調整している。		エアコン、ヒーターの温度は利用者様に合わせて職員が調節している。トイレは、窓や換気扇を利用し換気している。今後も空気が滞らないように取り組みたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) トイレや浴室に手摺の増設がされ、洗面所は車椅子でも使用できるタイプに付け替えられ、安全に工夫されている。玄関のベンチ、手摺の増設で、より安全に靴の脱着ができるようになった。		リビングに設置された縦の手摺は、体操等にもっと活用出来る様に取り組みたい。今後も整理整頓に取り組み、安全を図りたい。トイレ前の電灯はセンサーで自動点灯になり、夜間も安全にトイレへ行けるようになった。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 戸惑いの見られる方には、優しく声掛けをし、さりげない対応を心がけている。失敗があった時には、傷付かない配慮に努めたい。		居室には入口に柄の違う暖簾を掛け、また、表札を付けて、目印になるよう取り組んでいる。今後も一人ひとりの能力に合わせた、さり気ない支援に取り組む。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関先には、ベンチがあり、日光浴をしたり、おやつを食べたり、また、そうめん流しをしたりと工夫されている。屋上にもベンチを置き、洗濯物を干したり、入れたりする際に休憩したり、景色を見て寛げる様に利用している。		気候や時間帯を考えて今後も利用者様の楽しみとなる様に利用したい。季節によっては、日よけの準備も必要である。

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	一人ひとりの思いや願いは概ね把握出来ているが、施設で生活するには思いや願いがあってもなかなか表に出せない方も居られる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事、10時のお茶タイム、15時のおやつ以外にも一緒にテレビを見たりカラオケをしたり、ゆったりとした時間を過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事やお茶タイム等の決まった時間以外は各個人で自由に過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出、散歩等は皆様楽しみにされており喜んで頂いているが、なかには支援する事で不快に思われている方も居られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたい所の希望はあまりないが、施設が提供する外出が楽しみのひとつになっている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	2週間に1回のかかりつけ医の往診があり、必要な場合は適宜診て頂ける。又、毎朝のバイタル測定、入浴前にもバイタル測定を実施しており体調の変化があればすぐに対応出来る様、安心して過ごして頂いている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その日の体調や精神面を配慮した支援を行っている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	よく来所されるご家族とは信頼関係が築けているが、あまり来所頂けないご家族に関してはケアプラン説明時や毎月の様子を書いたメッセージカードによる報告を行っている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族様の来所が殆どである。地域の方が来所されるのは、行事の時となっている。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② ② ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議の開催が増え、理解されてきている。近くのデイサービス、民生員等地域の方々との交流も深まっている。
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が ② ② ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全体的に生き活きと働いているが、人間関係で悩み、不満等の声が聞かれる事がある。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② ② ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	概ね満足されている方が多いと思われるが、接遇に関する苦情や他ユニットと比較した言葉も伺われる。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が ② ② ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	不満を言われる事も少なく、概ね満足頂けていると思われる。接遇に関する苦情や、全て施設で管理するのではなく、個人の希望を取り入れ、塗り薬や目薬等を本人が好きな時に使用できるようにして欲しいとの声が聞かれる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・理念の「健康・愛情・幸福・希望」の健康に特に力を入れ取り組んでいます。
健康があって始めて家族様にも安心して頂けると思い、毎日のバイタル測定を実施しています。
体調変化があれば、かかりつけ医に報告・連絡・相談し、早急に対応出来る様に取り組んでいます。
又、ラジオ体操、リハビリ体操等を毎日実施しており、体力低下を防ぎ、健康維持、怪我の予防に努めています。
・個人の尊厳について話し合いをしている。
馴れ合いの言葉掛けになったり、乱暴な言葉使いにならない様に努め、利用者様の尊厳を守り、利用者様主体の生活となるよう取り組んで行く。
・年間を通して、行事を楽しまれています。
いちご狩り、バーベキュー、釣り堀、そうめん流し、ぶどう狩り、クリスマス会等。又、月に1～2回の外出やドライブに出掛けて気分転換を図って頂いています。
・庭の畑で取れた新鮮な旬の野菜を食べて頂いています。芋掘り等、一緒に収穫をして頂いています。